



7.67
むこう

むこう市社協だより

福祉パレット

No. 113

平成20年3月31日発行

編集・発行

社会福祉法人 向日市社会福祉協議会
京都府向日市寺戸町西野辺1番地の7
向日市福祉会館内
TEL.075-932-1960 FAX.075-933-4425

あたたかい善意とご協力をありがとうございました

平成19年度赤い羽根共同募金&歳末たすけあい運動結果報告

◆募金結果

地区・種別	赤い羽根	歳末たすけあい
物 集 女	603,600円	640,985円
寺 戸	1,330,482円	1,431,303円
森 本	322,700円	381,870円
鶴 冠 井	409,500円	504,342円
上 植 野	403,600円	441,561円
向 日	95,700円	132,100円
西 向 日	150,000円	192,250円
向 日 台	102,560円	97,275円
大 口 募 金	152,000円	0円
街 頭 募 金	0円	11,268円
職 域 募 金	29,030円	2,639円
合 計	3,599,172円	3,835,593円

◆配分金使途

寄せられた善意は、次の事業に使わせていただきました。

○赤い羽根共同募金

配 分 先	配 分 金
交流のつどい支援事業	80,000円
単身親世帯支援事業	100,000円
むこう市社協だより「福祉パレット」発行	782,550円
向日市社協ホームページ作成	40,000円
困りごと相談事業	360,000円
向日市社協ボランティア連絡会育成支援事業	50,000円
親子ふれあい事業	100,000円
障がい者(児)ふれあいレクリエーションの開催	247,802円
合 計	1,760,352円

(京都府共同募金会からの配分金で、事業を実施しました)



(親子ふれあい事業)

子育て中の親子を対象に、人形劇を通じて、子どもの健やかな成長を願うとともに、仲間づくりや情報交換の場を提供しました。

○歳末たすけあい募金

配 分 先	配 分 金
子育て支援事業	84,290円
高齢者世帯対象の防犯・防火機器設置事業	333,410円
ひとり暮らし高齢者対象のお節料理配食事業	1,119,620円
貸出用車いすの整備・補修事業	64,000円
地域サポーター養成講座	71,000円
在宅福祉・地域福祉物品・ボランティア支援事業	588,210円
「福祉とボランティア」出前教室事業	8,000円
思春期の子育て親育ち講座	33,160円
聞こえの教室	109,260円
地域福祉推進研修会補助事業	70,000円
地区社協育成費（8地区）	400,000円
働く仲間の集い実行委員会	
向日市難聴者協会	
京都府視覚障害者協会 向日支部	
手作りの成人を祝う会実行委員会	
向日市原爆被災者の会	
向日市障害児学童を育てる会 がんばクラブ	315,000円
向日市介護者の会	
ぼちぼち	
向日市サマースクール中高生の取組実行委員会	
向日市ろうあ協会	
未交付配分金（来年度繰越）	486,683円
事務費	152,960円
合 計	3,835,593円

(高齢者世帯対象の防犯・防火機器設置事業)



地域住民の連携を図るとともに、高齢者世帯の安否を確認し、地域で安心して生活できるよう、防犯・防火機器を設置しました。

(ひとり暮らし高齢者対象のお節料理配食事業)

70歳以上のひとり暮らし高齢者世帯を対象に、あたたかいお正月を迎えていただくため、地域の民生児童委員の協力を得て、12月31日にお節料理を配食し、併せて安否確認を行いました。

(地区社協育成費)

福祉活動の促進と充実を図ることを目的に、地区社協の8地区に対して助成を行い、餅つき大会や芋掘り大会、クリスマス会、広報誌発行など、地域の特色を活かした活動への支援を行いました。



向日市社協のホームページが新しくなりました。本会の事業を紹介するほか、ボランティアや地域の情報などを随時更新していくので、ぜひ一度、向日市社協のホームページを開いてみてください。

「福祉相談」実施しています。 お気軽にご相談ください！

毎月第2、第4火曜日に、向日市と共に開設している「困りごと相談」に併設して「福祉相談」を実施しています。

障がい福祉、ボランティア、子育て支援をはじめ、介護保険制度、成年後見制度（第4火曜日は司法書士による相談を受付けています）、福祉サービス利用援助事業などの制度やその手続きなど、福祉に関する相談をお受けします（無料）。

相談日は次のとおりです。

〈相談カレンダー〉

	4月	5月	6月	7月
第2 火曜日	8日	13日	10日	8日
第4 火曜日	22日	27日	24日	22日

相談会場：向日市福祉会館

相談日時：第2・第4火曜日

（8月は第4火曜日、12月は第2火曜日のみ）
午前9時15分から正午（受付は午前11時30分まで）

向日市社会福祉協議会では、町内会や自治会など、地域で福祉活動や子ども会活動などをされる方を対象に、印刷機、コピー機、紙折機の利用サービスを行っています。

利用料金

印 刷 機 1枚につき1円及び原版1枚ごとに50円

※用紙はご持参ください

コピ ー機 1枚につき8円

紙 折 機 無料

事前に電話にてご予約ください。

9:00~17:00（月～金曜日）

利用方法及び

利用時間

〈お問い合わせ先〉 総務係

ホームページをリニューアルしました



車いすを貸出します

皆様の善意の寄付や寄贈による車いすを貸出します。

○利用できる方

向日市内に在住し、一時的に車いすを必要とされる方で、次のいずれかに該当する場合。

- ・旅行や行楽などで利用されるとき。
- ・介護保険サービスの車いすレンタルを申込み、納入されるまでの間。
- ・向日市内の親族宅等に帰省されているとき。
- ・その他、事故により車いすを必要とするとき。

○貸出期間

原則として、一週間以内。

○車いすの種類

自走式、介助用、介助用軽量タイプ（7.8kg）

○貸出手続き

福祉会館1階 地域福祉係までお越しください。《印鑑をお持ちください》

印刷機等利用 サービスの ご案内



みんなで子育て!!

あなたも『子育て支援事業』に 参加してみませんか?!



◆平成19年度実績

○子育て支援講座

(国際ソロプロミスト京都-西山・向日市子育てセンター「すこやか」と共催し、保育ルームを併設しています)

回	開催月日	テーマ
1	9月21日(金)	講演・実技 「子どもを守る心肺蘇生法 ～いざという時のために～」
2	11月28日(水)	講演「子どもの事故について」
3	1月26日(土)	講演 「子育てのノウハウについて ～パパ・ママへの応援歌～」

○思春期子育て親育ち講座（新規事業）

平成19年12月13日（木）

講演「思春期の子どもとの付き合い方」

○向日市まつり「みんなで子育てMUKO」

平成19年11月18日（日）

子育て支援センター事業に協賛しています。

○子育てのつどい「みんなで子育てMUKO」

平成20年3月19日（水）

子育て支援センターと共に開催しています。

向日市社協では、『子育て支援講座』をはじめとした子育て支援事業にも取り組んでいます。『子育て支援講座』では、子どもの病気や事故防止、親の心のケアなどをテーマに開催し、受講者からは、「自分なりに勉強はしているが、心肺蘇生法を実際に体験することで、より理解が深まった」、「いつも子どもと二人きりなので、子どもを預かっていたら、講座を受けられるのは、勉

強になりました」といった感想をいただいている。また、平成19年度は、思春期の子どもを取り巻く問題や子どもの接し方をテーマに『思春期子育て親育ち講座』を新たに開催しました。平成20年度においても様々な『子育て支援事業』を開催しますので、子育ての方、子育てに関心のある方は、お気軽にご参加ください。



楽しく体験！ 楽しく学ぼう！

「福祉とボランティア」出前教室

この出前教室は、福祉講話やボランティア活動体験を通じて、人にやさしいまちづくりへの理解を深めるとともに、より多くの方々がボランティア活動に参加するためのきっかけづくりをお手伝いするものです。

市内の小学校、中学校、高等学校、PTA、子ども会、自治会、事業所（本会賛助会員）などが行う授業・イベントなどに、登録ボランティアの講師を派遣いたします。

◎派遣できるプログラムは、次の6種類となります。

* 1プログラム 1時間以内です。

①	点字（点字体験・当事者講話）
②	手引き／アイマスク（体験・当事者講話）
③	手話（手話体験・当事者講話）
④	車イス（車イス体験・当事者講話）
⑤	要約筆記（OHP体験、当事者講話）
⑥	ドッグセラピー（講話、実演）

*当事者講話は、都合によって調整できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

*申込用紙を用意いたしておりますので、必要事項をご記入のうえ、お申し込みください。

*調整期間が必要となりますので、開催希望日の2か月前までに、申込みをお願いします。

*費用は無料です。ただし、消耗品類（点字用紙、ロール紙など）は、ご依頼者の負担となります。

*体験に必要な備品（点字板、車イス、アイマスク、OHP、スクリーンなど）は、無料で貸出しを行っています。（※要申請）

また、必要な備品の会場への搬入や、返却は依頼者でお願いします。



「ボランティア相談会」毎月開催中！ あなたの活動への想いをサポートします。

ボランティア活動を始めたいという相談に、経験豊富なボランティアがアドバイスいたします。

- ボランティア活動に興味はあるけれども、どこに相談すればよいかわからない。
- どんな活動があるのか知りたい。
- 自分に合ったボランティア活動が見つからない。

*とき 毎月 第3土曜日 午前10時～正午
*ところ 福祉会館（3階）ボランティア活動ルーム
*受付 予約は要りませんので、直接会場へお越しください。

ださい。

*会場には駐車場がありませんので、車でのご来館はご遠慮ください。

*相談カレンダー

4月	5月	6月	7月
19日	17日	21日	19日

*都合により、開催日が変更になる場合がありますので、ご確認のうえお越しください。

お問い合わせ：地域福祉係

ボランティアグループの紹介

- ◎ 「一緒に活動してみたい」、「グループに手伝ってもらいたい」という方は、本会までお問い合わせください。

※ただし、ご本人やご家族のご理解をいただいている場合に限ります。

また、調整がつかない場合や、ご依頼の内容によっては、お断りする場合があります。

登録ボランティアグループ一覧

活動対象	グループ名	活動内容・場所等	
高齢者、障がい者、児童	ともしび	朗読	ボランティアの自宅、対象者の都合よい場所
障がい者、一般	きつつき	点訳	福祉会館、市内の学校
障がい者	おたまじゅくし	音符点訳	福祉会館
障がい者、一般	あすなろ	手話	上植野公民館、市内の学校
高齢者、障がい者	フレンド	要約筆記	市内の公共施設
高齢者、障がい者	サークル・プラス ワン	訪問・介助	利用者の自宅、福祉施設、病院
高齢者、障がい者	めだか	スポーツ（水泳・水中歩行）	向日市温水プール 毎週月曜日 10:00~11:00 13:30~14:30
高齢者、障がい者	ひまわり	衣服リフォーム	福祉会館
高齢者、障がい者、児童	絵手紙ひまわりの会	交流（絵手紙）	福祉施設
高齢者、障がい者	コスモス	交流（大正琴）	市内の福祉施設、病院
高齢者、障がい者	来夢来人	交流（音楽喫茶運営）	偶数月第2土曜日 13:30~ 社協デイサービス 第4土曜日 14:00~15:00向陽苑
高齢者、一般	京都セラピードッグクラブ	交流（ドッグセラピー）	市内の福祉施設、病院、市内学校
高齢者、障がい者、児童	ブーフーー京都（向日）	交流（人形劇・コーラス等）	市内の福祉施設、病院
高齢者	アフタヌーンナツメローズ	交流（コーラス）	福祉施設
高齢者	サロン・かぐやひめ	ふれあいサロン運営	第2火曜日（鶴冠井コミセン） 第4木曜日（上植野コミセン） 第3水曜日（寺戸公民館） 第4火曜日（寺戸コミセン） 各13:30~15:30

◎現在、新規登録を募集中です。福祉活動をすることが目的で、市内で定期的・継続的に活動するボランティアグループを受付けています。登録いただくと以下のような支援が受けられます。

- 1 ボランティア保険の加入掛金（300円分）の補助が受けられます。
- 2 本会が行う活動助成金の申請ができます。
- 3 ボランティア活動ルームが利用できます。
- 4 活動に必要な資材の貸出しを行います。

つなぐ・広がるボランティアの輪

ボランティアフェスティバル2007開催

「向日市まつり」の会場で、向日市社協ボランティア連絡会の主催による「ボランティアフェスティバル2007」が、多くの市民の参加を得て開催されました。このフェスティバルは、日頃のボランティア活動の成果を発表する場づくりと、広くボランティア活動への参加を呼びかけて、

ボランティアの輪を広げていくことを目的に、毎年開催されています。

当日は、ボランティア連絡会に所属するグループが、日頃の活動を活かした「交流」と「体験」のコーナーを設けました。

また、同時に、日頃のボランティアグループの活動の様子を紹介した

パネル展示も行われました。



点字体験「自分の名前を打つてみよう」

お気軽に ご相談ください♪

障害者地域生活支援センター



障害者地域生活支援センターでは、地域で暮らす障がいのある方の自立と社会参加を目的に、障がい福祉に関する総合相談を行っています。

こんな時は、ぜひ一度ご相談ください！

- ☆障がい福祉に関する情報を知りたい
- ☆福祉サービスには、どんなものがあるの？
- ☆就学・就労について悩んでいる
- ☆生活上の悩みがある…

【受付時間】月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時15分

【相談方法】窓口相談、電話、ファックス、メール、訪問もします

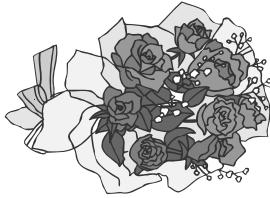
【問合せ先】電話番号 (075) 932-1990

FAX (075) 933-4425

メール chiiki@muko-shakyo.or.jp

「障がい者のためのフラワー^{アレンジメント教室」を開催！}

—向日市社協 福祉会館指定管理事業—



とても和やかな雰囲気の中で、13名の参加者はそれぞれの個性を活かしたアレンジメント作りを楽しまれ、「出来上がり見本を見ながら、作り方を教えていただきたいのでとてもわかりやすかった」と、たいへん好評でした。

12月8日（土）向日市福祉会館において、今年で2回目となる「障がい者のためのフラワー・アレンジメント教室」を開催しました。

当日は、「フラワー・アレンジメントFあんどF」の磯田能理子さん、伊勢千栄子さんの指導で、バラ・ヒイラギなど11種類の花や葉と、リース・ベル・松かさなどのオーナメントを使い「クリスマスアレンジメント」を作りました。



「クリスマスアレンジメント」

寄付のお願い

寄付金は、社協の事業を支える大切な財源です。金額の多少にかかわらず、年間を通して受付ています。福祉活動充実のため、みなさまのご協力をお願いいたします。

- *お祝いごとや、香典返しの一部
- *会社やお店、団体などの創立記念・開店記念などのご芳志
- *各種パーティー、バザーなどの収益の一部

※社会福祉法人への寄付は、所得控除や法人税控除の対象になります。



善意のご寄付 ありがとうございました。

(平成19年10月1日～平成20年1月31日)

吉井 孝一 様	50,000円
東向日キリスト教会 様	10,000円
医療法人回生会 様	100,000円
畠中 真ひろ・ゆうひ ちゃん	4,823円
向日市グラウンドゴルフ協会 様	6,936円
京都新聞乙訓販売所連合会 様	30,000円
フォレノワール 様	3,331円
匿名 4件	40,000円



向日市には、小地域（行政区）を単位として、8か所（物集女・寺戸・森本・鶴冠・上植野・向日・西向日・向日台）の地区社会福祉協議会（略称：地区社協）が設立されています。

今回は、向日台地区社協の活動をご紹介します。

平成19年6月から、毎月第4金曜日に向日台団地集会所において、『ふれあいサロン』

月から導入される「後期高齢者医療制度」についての勉強会を実施され、参加された約40名の方々は、向日市健康推進課職員の話に、熱心に耳を傾けておられました。

原田会長は、「向日台団地へ入居した頃は、子どもの声がないやかで、自治会役員も30歳代の方が中心でしたが、最近は高齢化の影響が大きく、数年後には、住民が地域を支

『ふれあいサロン』とは、身近な地域を拠点として、高齢者や障がい者、子育て中の方等も含めて、地域住民と一緒に企画・運営しながら、茶話会やレクリエーション、小物作りなどの活動を定期的に開催し、「楽しく・気軽に」仲間づくりを行う活動のこと

1月25日には、平成20年4月から導入される「後期高齢者医療制度」についての勉強会を実施され、参加された約40名の方々は、向日市健康推進課職員の話に、熱心に耳を傾けておられました。

今後も福祉パレットの中で、地区社協活動をご紹介していくので、地区社協活動に 관심のある方は、お気軽に各地区社協もしくは向日市社協までお問い合わせください。

向日台地区社協編

ふれあいと 思いやりのまじめぐれ

地区社協活動のご紹介 ～パート8～



ヘルパーとともに パート15

大正12年3月、北海道の酪農家に生まれ、乳搾りや農作業を手伝いながら育つ。「子どもの頃は雪が降ると、スキーで学校に行つた」と雪国ならではの体験を話され、陸上（道大会に出場）のほか、自衛隊勤務時にはスキーフリースキーチームの隊長を務めたほどの腕前を持つ、スポーツ全般

プロフィール

今回は、仕事中に機械に巻き込まれ（左腕損傷）、九死に一生を得て、今は一年を通じて菊作りに励んでおられる、安彦さんをご紹介します。



今年も大輪の菊を咲かせました

菊作りを通しての絆

安彦 義郎さん（84歳）

な安彦さんです。また軍隊に入隊後、支那（現在の中国）では第一戦で戦って負傷し、今ま仕事中の事故の後遺症により、左腕・肩にかけて1年中、重だるさ・しびれ・冷え症に悩まされ、時には全身に痛みが走ることもあります。苦しい現状のなか若い時の経験が、痛みに耐える我慢強さの原動力となっています。

安彦さんと菊作り

菊作りのきっかけは、友達に苗をもらひ大切に育て、大輪の花を咲かせた満足感から、菊に魅せられ15年が経ちました。その努力の成果が認められ、新聞記事になつたほどで、す。去年は特に事故で



入浴後「ええ、あんばいやつた！」

平成4年に、入浴介助で訪問（週1回）を開始し、15年間に13名のヘルパーが訪問させていただきました。でかけることは自分ですとの思いから、着

脱の一歩助け洗身では洗えない部分だけを援助しています。安彦さんは菊作りや謡曲のお友達を通して「生かされていく」と実感し、感謝の気持ちを忘れず、自分がつらい時こそ人の温かみを感じ、元気を吸収されています。ヘルパーは自分に厳しく、でも心の聲力をおしまない生きさまに感謝を受けました。

日々心地よい生活を
やる」「体を動かすようにする
(特に歩く)」と話されています
今年の秋の菊も、道行く人の胸
を持ちを和ませてくださいね。
家の前を通ると、「毎年りっぱ
な菊を見せてくれはって、楽し
みやわあ」と聞けたりときどき
す。

楽しみを届けてくれました。人間関係に恵まれ、人との関わりに助けられたと感じる安彦さんです。「去年は、娘家族が手伝ってくれた」と後継者もできました。又、菊作りの他に、まご近所の方が亡くなられたのをきっかけに、6、7年前から写経を毎日書いておられます。今では「一日でも欠かすと気持



掲載する内容・写真に関しては、あらかじめご本人やご家族より承諾を得て、掲載させていただいております。

登録ヘルパーさんを 募集しています

お問い合わせ先

向日市社協ホームヘルプセンター

楽しく一緒に働きませんか？

デイサービス利用者にインタビュー!

デイサービスの樂ひみて何?



午後のひととき。将棋を楽しむ日上さん（写真左手前）

デイサービスの樂
みはなんですか？

日上さん●お風呂に入ることと、デイの仲間と将棋やカラオケをすることが、樂しみです。

中埜さん●やつぱりお風呂ですね。月に一週間の日替わりの湯では「ひのき」「ランダード」など、いろんなお風呂が楽しめてとても嬉しいです。はじめの頃はデイサービスに来ることが不安でしたが、今ではお友達

福祉パレットの読者の皆様に一言あれば
お願いします。

日上さん●デイサービスにきて、とっても元気になります。冗談もいえるようになつたし、毎回来るのが楽

今回は、向日市社協デイサービスを長く利用されている日上さんと中埜さんにスポットをあてて、インタビューさせていただきました。

がたくさんてきて、いろんな話をしたり、レクリエーションを一緒に楽しんだり、とても居心地がよいです。

中埜さん●お友達がたくさんできるし、職員さんとお話しするのも楽しいです。



お風呂の後、ボランティアさんとの会話を楽しむ中埜さん（写真左）

高齢になると家に閉じこもりがちになりますが、デイサービスに行くことは、心身のリフレッシュを図り、日常の生活が活性化すると言われています。

生活をする中で、「楽しみの一つにデイサービスがある」と言う利用者の声を励みに、これからも楽しく安らぎのあるサービスを心がけて、職員一同がんばります。

日上さん、中埜さん、インタビューの協力ありがとうございました。
これからも元気に、デイサービスに来てくださいね。

高齢者との尊厳と権利を守りましょう！

地域住民同士の助け合いや見守りが大切です！

「向日市地域包括支援センター」は、高齢者のための総合的な相談窓口です。

日頃は、「介護保険サービスを利用したいけれど、利用方法がわからない」、「寝たきり

や認知症を予防したいので、介護予防事業に参加したい」などの相談が多く寄せられていますが、センターは高齢者虐待（※1）の相談・通報窓口でもあります。

高齢者虐待が起る要因は様々ですが、その原因のひとつとして、高齢者を支える家族等の介護負担が挙げられます。

介護は長期間に及ぶことが多いため、家族だけで担つていくには限界があります。

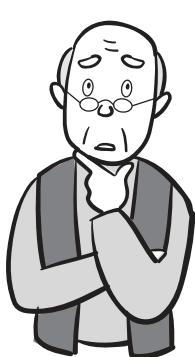
家族が心身ともに余裕を持つて、より良い介護を継続していくためには、介護保険サービスやボランティアをはじめとした様々な社会資源を活用することはもちろんのこと、日常生活の中で、地域住民同士がお互いに助け合ったり、励まし合ったりすることもとても大切なことです。

何らかの支援を必要とする人にとって、身近な存在である地域住民からの温かい見守りやさりげない声掛けほど、力になるものはありません。

普段からの助け合いや見守りの中で、高齢者から「悩みごとがあるんだけれど……」と



今日もいい天気ですね



お問い合わせ
向日市地域包括

支援センター

打ち明けられた時や、「最近、ちょっと様子が変だな？」と感じられた時には、「大丈夫だろ」と思われずに、センターに相談・通報してください。

（※1）高齢者虐待とは？
養護者や養介護施設の従事者から高齢者に対して行う次の行為を高齢者虐待と言います。

○身体的虐待
○介護・世話の放棄・放任
○心理的虐待
○性的虐待
○経済的虐待

高齢者虐待の防止や早期発見・早期対応により、高齢者の尊厳と権利を守っています。

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていくように、皆さん一人ひとりにできることを考えていただき、高齢者虐待の防止にご理解・ご協力をよろしくお願いします。

（※2）向日市高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会とは？
高齢者虐待の防止や早期発見・早期対応を行うため、関係機関・団体との連携強化を目的に、設置されています。
委員会は、学識経験者や福祉関係者、行政関係者等の15名の委員で構成されています。

自分の住み慣れた地域で 暮らしたい

認知症のひとり暮らしでも…

朝出勤して、事務所の留守番電話を再生すると、

「もしもし、○○さんのお宅ですか。

Aです。相談したい事があるので、

帰られたらお電話ください」と、A

さんの伝言が入っていました。

ひとり暮らしで認知症があるAさんは、社会福祉協議会の電話番号を、私の個人宅の電話と思い込まれて、不安があると、電話をしてこられます。

早速Aさんに、「ケアマネの○○です。昨夜電話くださいましたが、どうされましたか」と電話します。

Aさんは「おはよう。電話なんかしてないけど

どうも、電話をしたことを忘れておられるようです。

「そうですか。それならよいのです

が。今日はデイサービスですね。ゆっくりお風呂に入つてくださいね」と話し、電話を切りました。

現在、認知症でありながら、ひとり生活しておられる方が、多数おられます。

私たち社協の居宅介護支援事業所では、「利用者が要介護状態等となつた場合においても、可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができる」と定めています。

短期記憶や、曜日の感覚があいまいになつている方でも、デイサービスの利用日には、ヘルパーが「今日はデイサービスに行く日ですよ」と

声掛けをして、デイサービスへ送り出しをしてくれます。また、気にならぬことがあります。このように

しかし、ケースの中には、対応が難しいこともあります。このような時は、介護者や関連機関と連携を取りながら、その問題解決を図り、また、その結果を、他の職員にも報告する場を持つています。

業務の中で、誰もが自分らしく住み慣れた地域で安心して生活できることがあれば、ヘルパーやデイサービスなどの関係者から、ケアマネに連絡が入り、その方の在宅生活



子育て支援ねこばす
代表 高山紀公子さん



向日市社協では、向日市内で社会福祉に携わって活躍されている方にインタビューを行い、その方の社会福祉活動の内容等をご紹介する「この人に聞く」コーナーを開設しています。今回は、子育て支援ねこばす代表の高山紀公子さんに、グループの活動内容についてお話を伺いました。

▼プロフィール

高山さんは、大学卒業後に自動車会社に就職されましたが、当時、出産・育児休暇などの制度が整っていなかつたことから、出産を機に退職され、3人のお子さんを出産されました。3人のお子さんが幼稚園の時に、「女性問題アドバイザー養成講座」に参加するなど、託児付きの講座を積極的に受講され、それをきっかけに、向日市の「いきいきフォーラム」の実行委員や、都市計画等の審議委員を務められるなど、様々な場面で活躍をされました。

その経験をもとに、「今、自分ができることは、子育てをされているお母さんを助けることだ」と思われ、また、その当時、児童虐待が社会的にも大きく取り上げられていたことから、子育て中のお母さんを支えることを目的として、向日市在住の「保

育サポート養成講座」を受講した方や、保育士資格を持つている方に呼びかけ、平成13年10月に、13名で「ねこばす」を立ち上げられたそうです。

▼子育て支援ねこばすの活動

ねこばすは、子どもの保育と産後の家事支援等を中心とした個人依頼や、幼稚園や保育所で開催される保護者会や行事、向日市主催で開催される講座の保育ルームの依頼を受け、活動をされています。

向日市社協では、平成14年度から取り組んでいる『地域福祉活動計画』において、「ふれあいと思いやりのまちづくり」をスローガンに、日々地域福祉を推進しています。

高山さんに「ふれあいと思いやりのまちづくりを実現させるために必要なことは?」と質問したところ、「ボランティアの活性化が必要だと思います。今、個人情報保護の問題もあり、近所の方との関わり方が難しくなっています。また、地域力が弱

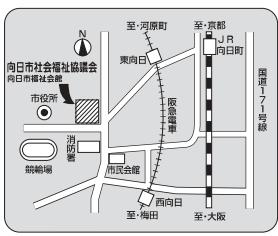
いに繋がります。今は、社会的にみんながせわしなく働きすぎているのではないかと思います。親がもっと子どもと関わる時間を持つことが大切で、雇う側や社会が、子育てをしやすいように配慮をする必要があると思います」と話されました。

▼ふれあいと思いやりのまちづくり

最後に、向日市社協に對して期待することについてお尋ねすると、「主任児童委員を務めていた際に、高齢者福祉は盛んだが、子育て支援が充実していないと感じました。現在取り組んでいたりしてはどうかと思います。また、児童相談所等と連携して、地域で閉じこもっているお母さんを掘り起こし、支援をしてほしいと思います」と熱心に語ってくださいました。

総務係	932-1960
地域福祉係	932-1961
障害者地域生活支援センター	932-1990
地域包括支援センター	921-1550
デイサービスセンター	931-3294
ホームヘルプセンター	932-1968
居宅介護支援センター	931-3030
福祉会館	931-3322

お問い合わせ先



向日市社協の広報誌「福祉パレット」に関するお知らせ

向日市社協の広報誌「福祉パレット」は、市民の皆様から寄せられた善意の「赤い羽根共同募金」の配分金を財源として、年に3回(3月・7月・11月)発行しています。

今後も市民の皆様方に关心と親しみを持って読んでいただけるように、紙面の充実に努めていきたいと思っておりますので、「福祉パレット」に対するご意見やご感想、ご要望等がございましたら、お気軽にお寄せください。